



E

第37回

ひなまつり展

— 古来のヒトガタから現代のコンパクト雛まで —

令和7年度第3回企画展



A

古く雛遊トカラ

C

あまのこころのこころ

B

あまのこころのこころ

児ニ懐ヲ教ヘ家事ヲ習ハルナル

H



F



G



I



D

令和8年2月7日(土) ~ 3月15日(日)

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 木曜日



ミュージゼ / Musée

中之条町 歴史と民俗の博物館
Nakanajo Museum of Folk and History

〒377-0424 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町947-1
TEL 0279-75-1922 URL <https://www.town.nakanajo.gunma.jp/site/myuze/>

■ 観覧料 一般200円(160円) 小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金

※障がい者手帳等をお持ちの方と、その付き添いの方1名は無料



第37回

ひなまつり展

古来のヒトガタから
現代のコンパクト雛まで

雛祭りには上巳の節句や桃の節句ともいい、女兒のある家で幸福や健やかな成長を祈って雛人形を飾り、調度品を具え、菱餅・白酒・桃の花などを供える行事です。古来よりの「人形（ヒトガタ）」を身代わりとして穢れを流し浄める「上巳の祓」という行事と、平安時代以降の貴族の子女が行った人形遊び「ひいな遊び」が混同していき、江戸時代に五節句という公式儀礼の一つとして雛祭りの原形が出来上がりました。

本展は、雛祭りとは雛人形の起こりについて、実物資料や江戸時代の民俗研究誌から探るとともに、雛祭り成立後の様々な時代・形式の人形を時系列に沿って展示することで、それらの歴史と人形に対する社会認識の変遷をたどっていく展示とします。



関連イベント

学芸員による見どころ解説

2月14日(土)、2月22日(日)
いずれも13:30～(30分程度)

※申込不要、要観覧料。
企画展示室にお集まりください。



【表面】A. 名久田川を流れるヒトガタたち / B. 『源氏物語』須磨の巻 / C. H. 『守貞謄稿』巻26 / D. 享保雛 江戸時代 / E. 古今雛 明治時代 / F. 雛道具(生活道具) 大正時代 / G. 『日本歳時記』巻7 / I. 稚児雛 大正時代
※B. C. G. H. は国立国会図書館デジタルコレクションより転載。これらの資料はパネル展示となります。

【裏面】1. 童子・童女人形 明治時代 / 2. 五人囃子(稚児雛) 大正時代 / 3. 4. 永徳齋作有職雛段飾り・七人雅楽 明治時代 / 5. 和利宮吾妻神社のヒトガタ 現代



同時開催

昭和のくらしと道具展

さわって体験！ ハンズオン展示 も用意

黒電話
(NTT 東日本所蔵)

昭和の茶の間
再現展示

交通案内



【電車をご利用の場合】

- ・JR吾妻線中之条駅から徒歩約15分
- ・中之条駅から関越交通バス(四万温泉行または沢渡温泉行)約5分、「博物館前」下車

【車をご利用の場合】

- ・関越自動車道 渋川伊香保ICから約40分(駐車場 約20台)